



札幌圏に在住する置戸町出身の方々などで組織された「札幌おけと会」（歎持政男会長）の平成26年度総会・懇親会が10月25日、札幌市内のKKRホテル札幌で開かれました。総会には会員のほか町から井上町長や佐藤議長など総勢65人が参加し、ふるさと談義に花を咲かせながら旧交を温め合いました。

総会で歎持会長は「ふるさとの情報を見たり聞いたりするたびに、あらためて置戸はすごいところと感じる。皆さんもふるさと置戸への強い思い入れがあると思うが、これからも応援していきましょう」と挨拶。井上町長は、開町100周年記念事業、置戸中学校の新校舎完成、東京都多摩市や秋田県湯沢市との交流など町の現況を報告した上で、「皆さま方のふるさとへ寄せる思いが、私たち行政を預かるもの大きな勇気になる。今後ともふるさと置戸に対するお力添えとご声援をお願いしたい」と呼びかけました。

その後、予算など議案審議が行われ、全ての議案が原案どおり可決されました。

続く懇親会は、置戸タイムス社山本社長の乾杯の音頭でスタート。各テーブルでは、お互いの近況やふるさとの話題で話がはずみ親睦を深めました。また、会場では、2年ぶりの出席となったERIさんの歌声披露やオケクラフトなどの特産品販売、福引き抽選会などが行われ、終始和やかな雰囲気に包まれていました。

なお、来年度は発足50周年の記念開催になります。



● 加入の呼びかけを ●
ご家族や友人などで札幌圏に転出された方に、ぜひ加入を呼びかけてください。

【詳細】

置戸町ふるさと運動推進協議会事務局へ
(町民生活課広報広聴係☎52-3315)